

県外派遣報告書 一社)栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	令和元年度 第49回関東中学校バスケットボール大会	開催地	埼玉県深谷市、桶川市
報告者名 (所属連盟)	若林謙作 岡龍哉 神門康治 赤羽沙耶	派遣期間	令和元年8月6日(火)～8日(木)
参加者 (所属都県)	本部: 渡邊整(栃木)、平原勇次(東京) 指名: 村上恵美(神奈川)、加藤暁生(東京)、大山賢史(栃木) 東京: 五十嵐菜美、望月直幸、一杉あきの、豊島浩章 千葉: 安藤俊明、久保あしみ、中島弘幸、林原潤 神奈川: 長谷川裕、山岡忠、中澤美保子、吉田一貴 群馬: 星野由貴、小澤朋克、穂川苑子、佐藤圭 茨城: 稲葉威、坂美佑紀、大和田雅人、鈴木孝一 山梨: 手塚清孝、丸山淳、荻野健、古屋勝司 栃木: 若林謙作、赤羽沙耶、岡龍哉、神門康治 埼玉県審判員		
【審判会議内容】 <ガイドライン追加点> 村上恵美氏 1、 <u>ファウル</u> ・ファウルとは ① 触れ合いに対するファウル(NF/UF) ② 振る舞いに対するファウル(TF) ③ 特に悪質でスポーツマンシップに反する行為(DQ:ファイティング含む) 「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を実践するため、イリーガルな「触れ合い」および「振る舞い」に対するファウルを、競技規則およびプレーコーリング・ガイドラインに則り適切に判定することが求められている。 ・ファウルの3原則(触れ合いに対するファウル) ① 触れ合いの事実 ② 触れ合いの責任 ③ 影響 2、 <u>ボールの扱い方</u> ボールは手で扱わなければならない。 3、 <u>不注意などでゲームを止めてしまった時の対応</u> ・ルールで規定されている事象以外で不注意や誤ってゲームを止めてしまった場合 ① クルーチーフを中心にその状況での情報を把握・共有し、どちらかのチームが著しく不利な状況とならないことを考慮したうえで、最終的にクルーチーフが再開方法を決定する ② タイムアウトや交代についても、①を踏まえたうえでクルーチーフが認めるか認めないかを判断する。 <新ルール> 村上恵美氏 1、 <u>スローイン</u> 第4クォーター、各オーバータイムでゲームクロックが2:00あるいはそれ以下を表示しているときに、ディフェンスのプレーヤーによるスローインのバイオレーションを防ぎ、ゲームの最後の2分間での遅延を防ぐために、一度警告を与えてからスタートする。 ↓ イリーガルバウンダリーラインクロッシングシグナル(プリベンティブシグナル) 2、 <u>ドリブル</u> バックボードを狙ってボールを投げることはドリブルではない。 3、 <u>24秒ルール</u> (いくつかのケースで説明) 4、 <u>ダブルファウル</u> ダブルファウルになる4つの条件 ① 両方のファウルが、プレーヤーのファウルであること。 ② 両方のファウルが、体の触れ合いを伴うファウルであること。 ③ 両方のファウルが、対戦プレーヤー間で起きること。 ④ 両方のファウルの罰則が等しいこと。			

マージナル or イリーガル or ノーフアウルの判断について常に検証を重ねる必要がある。

5、テクニカルファウル(TF)

ベンチTF →チームファウルに数えない

プレイヤーTF →チームファウルに数える

宣するときに確認

・ボールのステイタス

・ショットクロック

DF・TF …バックコート→24秒

フロントコート→継続、13秒以下の場合は14秒

OF・TF …継続

4Qの2:00以下自チームのタイムアウト後

バックコート→継続

フロントコート→13秒以下の場合は継続

14秒以上の場合は14秒にリセット

〈マンツーマンペナルティ対応について〉 加藤暁生氏

黄色旗…改善を求めるもの。

試合中に何度上がってもよい。試合は継続。

赤旗一度目…試合を止めて「警告」

⇨ボールがデッドになるまで基本的には待つ。

赤旗二度目以降…マンツーマンペナルティ

⇨コントロールが変わった時、ボールがデッドになった時。

※赤旗で試合を止めるのはMC(マンツーマンコミッショナー)の役目

・マンツーマンペナルティ→スコアシートには「M」と記入(「M」2つで退場)

・コーチが退場になる場合(C…コーチ自身のTF、B…チームベンチパーソナルによるTF)

C+C

B+B+B

C+B+B

M+M

} 退場になる

C+B+M

B+B+M

} 退場にならない

〈3PO Basic〉 渡邊整氏

1、プライマリ

フロアカバレッジには「プライマリエリア」と「プライマリアングル」がある。

プライマリエリアのレフェリーだけでなく、オープンアングルであれば積極的にコール。

2人、3人であった時に誰がTOLレポートに持っていくのかスムーズに行うために

「プライマリエリア」をよく覚える。

2、ローテーション

「クローズダウン、ローテーション、フィニッシュ」の3つのフェーズがある。

いつでもリードオフィシャルがイニシアチブを握る。

3、ファウル後のスイッチ

TOLレポートを終えたレフェリーは、オポジットサイドに移動する。

スイッチの間もレフリング(デッドボールオフィシエーティング)

4、リード・ベーシック

・セットアップポジションとミラー・ザ・ボール

・オープンアングル45°

・クローズダウン

・ローテーション中、「スキャンザペイント」or「ネクストマッチアップ」

5、センター・ベーシック

・フリースローラインの延長線上を起点とし、サイドラインと平行

・コートの中にできる限りポジション

・High-CとLow-C…フリースローサークルの上下端の延長線上までをワーキングエリアとし

その間でポジションアジャスト。

・Cはオフボールのみではない。(Cは3POの生命線)

6、トレイル・ベーシック

・基本ボールよりも後ろに位置する。

・アウトサイドイン(アングルの取り方)

・ローテーションに合わせて「チェックアウト」

7、オールコートプレスへの対応

・バックコートをTとCでカバー

・8秒バイオレーション(TとCの協力)

8、ローテーションをしない場合

- ・クイックショット、クイックパス、クイックドライブ
- ・ゲームクロック、ショットクロックの残りが5秒未満

↓

リードオフィシャルの両足がミッドラインを…
越えていれば、ローテーションを完成
越えていなければ、元のサイドに戻る(バックペダル)

ノッキングを避ける

9、センターライン付近でのカバレッジ

ウィークサイド(Cサイド)の高い位置でトラップを仕掛けた場合、センターオフィシャルがレフェリーできる位置にポジションアジャスト。

10、クロスコールとアングルの理解

- ・リードオフィシャルからの「クロスコール」を避ける。
 - ↳ オープンアングルの場合はコール。
- ・センターオフィシャルを信頼する。
- ・プライマリエリアとプライミアングルを理解する。
- ・明らかなケースはリードオフィシャルは二番手。

11、クロックコントロール

- ・ゲームクロックの把握→オポジット
- ・ショットクロックの把握→トレイルオフィシャル

12、EOQ、EOG

ゲームクロックが残り5秒未満の場合、必要であればローテーションをしても良い。

13、リバウンド・カバレッジ

- ・ミッドラインで二つに分ける。
- ・自分のサイドにいるペアを探す。
- ・コールをした後には必ずディレクション。

14、ピック・アンド・ロール

- ・スクリーンの直後→裏表の視野の取り方

15、OBBコンビネーション

- ・基本L→エンドライン、T・C→サイドライン
- ・helpが必要な場面…100%明らかなラストタッチが確認できた場合のみhelp

16、プレゼンテーション

- ・場合に応じた見せ方
- ・シャープに凛々しく
- ・アスレチックな姿

〈インテグリティ〉 渡邊整氏

- ・見苦しい振る舞いをなくす。
 - ① コーチのプレイヤーに対する暴言
 - ② コーチの暴力的(攻撃的・虐待的含む)振る舞い(行・行為)
 - ③ 第三者が不快と感じる振る舞い(行・行為)

↓

感情的にならずにシンプルにコール！

コミュニケーション → Short and Clear

・判定を下すのは審判員だが、その基準や理由をプレイヤーやコーチと共有することでより良い試合を作り上げることができる。

- ・判定の根拠とPOC
- ・プレイヤーやコーチからの…

Question: ○

Statement: ×

県 外 派 遣 審 判 ミ ー テ ィ ン グ 記 録 表

審判員名	U1 岡 龍哉	相手審判	CC安藤 俊明(千葉) U2鈴木 孝一(茨城)
カード	8月6日 男子1回戦 梅丘(東京)62-59大井(埼玉)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会初日のゲームとしてのテンポセッティングとして2Qの判定をもっと踏ん張れたらよかった。 ※ドライブに対するディフェンスのファウルとして取り上げるものがもっとあった。 ・4Qの残り2分で何が起きているか注意しておく ・リバウンド後のプッシング ・転倒しているケース(Tがビックピクチャーで確認) <p>個人の動きとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔を覗かせて確認→1歩動く ・顔を覗かせて確認→1歩動く立ち姿(両足にバランス) ・チェックイン・チェックアウトをもっと意識する <p style="text-align: right;">《審判主任》小澤 朋克 氏</p>			

審判員名	U2 岡 龍哉	相手審判	CC草野 伸明(東京) U1安藤 俊明(千葉)
カード	8月7日 男子2回戦 笛川(山梨)83-76川口神根(埼玉)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <p>3人で協力して確認しながらできた。アイコンタクトできていた。</p> <p>1Qのプロテクトシューター、2Qのセンターからのプッシングはよく判定できていた。</p> <p>ゲームを通して笛を入れる必要があるところで笛を鳴らす必要がある。そうでないこともあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショットクロックの管理 <p>個人の動きとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン・チェックアウトの確認 ・POCの確認 <p style="text-align: right;">《審判主任》手塚 清孝 氏</p>			

<p>【感想・県内審判員へ伝えたいこと】</p> <p>今回、初めて県外開催のブロック大会に派遣させていただきました。初日1試合、2日目1試合割り当てをいただきました。大会は中学3年生の引退がかかった緊迫した、それでいて思い切りのいいプレーが目立ちました。そういったゲームを審判するにあたって大切なことは「判定力」だと改めて感じました。また、3POメカニクスの理解もより深めて判定に生かせるようにしないといけないと感じました。ゲームでこれからもっともっと信頼されるレフリーになるため、日々研鑽を重ねたいと思います。また、県外派遣することで県外のたくさんの審判員の方とつながりができることも自分にとって大きなものとなりました。</p> <p>今大会への参加に際しまして渡邊整ブロック長、講師の先生方、派遣審判員の皆様方におかれましては多大なるご奉仕をいただき心より感謝申し上げます。また、派遣に際しましてご尽力いただきました渡邊諭県審判長並びに県内審判員の皆様方へも心より御礼申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">岡 龍哉</p>

県 外 派 遣 審 判 ミ ー テ ィ ン グ 記 録 表

審判員名	U1 赤羽 沙耶	相手審判	CC長谷川裕(神奈川) U2佐藤 圭(群馬)
カード	8月7日 女子3回戦 昭和学院(千葉)55-48志茂田(東京)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストプレイに対しての視野の当て方。Cサイドにボールが来た時の見方の工夫が必要。 シリンダーから外れているものはコール。 ・リバウンドプレイを全体的に見てしまっている。自分が見るべきペアを捕まえてプレイを初めから長く見られるように。 ・リバウンド後のディフェンスのコンタクトについて。抜けてはいるが、テンポセットで吹くべき。 <p style="text-align: right;">《審判主任》山崎 人志氏(埼玉)</p>			

審判員名	U2 赤羽 沙耶	相手審判	CC安西 郷史(埼玉) U1九里 亜紀(埼玉)
カード	8月8日 女子準決勝 八王子一(東京)59-57下妻(茨城)		
<p>◇ ミーティングの内容(グループミーティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1Q終了時、負けているチームのファウルが多く、勝っているチームファウルが0。 クルーでどんな会話をしていたか。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ゲームのスタートが上手いっているか、いないかの違い。仕方ない。 2Qに入ってからダメなものはダメでコールしていく。 ・映像を見ながらケースについての検証が多かった。 GM参加者:一杉あきの(東京)、吉田一貴(神奈川)、佐藤圭(群馬)、古屋勝司(山梨) <p style="text-align: right;">《審判主任》穂川 苑子氏(群馬)</p>			

<p>【感想・県内審判員へ伝えたいこと】</p> <p>今大会は一泊審判員として参加しましたが、二日目の準々決勝と最終日の準決勝を担当させて頂きました。準々決勝は勝てば全国大会出場、負ければ引退。準決勝は前半は点差が離れてしまいましたが最終的には2点差のゲーム。両試合とも緊迫したゲームとなりました。</p> <p>二試合担当して感じ学んだことはプレーへの目の当て方とクルーチーフメンタリティ。目の当て方は見ているつもりでも目を当てるのが遅く、試合の中で意識して修正し取り組みましたが、今後の課題の一つです。クルーチーフメンタリティについては二試合ともクルーチーフを中心にゲームを進めていきましたが、とくにタイムアウトやインターバル中、ゲームの流れや注意点など細かく示していただき、とても勉強になりました。今後に繋げていきたいです。</p> <p>最後になりますが、今回の派遣に際しましてご配慮いただきました渡邊整関東ブロック長、渡邊諭県審判長はじめ県内審判員、埼玉県審判員、大会関係者各位に心より感謝申し上げます。 赤羽 沙耶</p>
--

県 外 派 遣 審 判 ミ ー テ ィ ン グ 記 録 表

審判員名	CC 若林 謙作	相手審判	U1豊島 浩章(東京) U2大和田 雅人(茨城)
カード	8月6日 男子1回戦 川口神根(埼玉)62-59原(神奈川)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24秒の管理など、TOとクルーでコミュニケーションを取りながら運営できていた。 1回だけ24秒が誤ってリセットされてしまったケースがあったことが非常に残念。 ・ヘルプの入れ方、とても良かった。 ・試合の終わらせ方も良かった。 <p>※ジャンパーヴァイオレーションでアローの向きを間違えて示してしまった。</p> <p style="text-align: right;">《審判主任》中島 弘幸氏(千葉)</p>			

審判員名	U1 若林 謙作	相手審判	CC稲葉 威(茨城) U2小原 宏太(埼玉)
カード	8月7日 男子準々決勝 一条(栃木)86-87八千代松陰(千葉)		
<p>◇ ミーティングの内容(グループミーティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロック管理、交代させない決断とても良かった。 ・スクリーンに対しての守り方で、基準を示す必要があるケースがあった。 ・誰が見ても分かりやすいプレゼン、判定の仕方が求められている。 ・スローインする前のdefファール、時間帯によってはUFになるという認識をクルーでしておくのと同時に、選手・ベンチにメッセージとして示していく。 <p style="text-align: right;">《審判主任》安西 郷史氏(埼玉)</p>			

審判員名	U1 若林 謙作	相手審判	CC眞榮喜 工(埼玉) U2安藤 俊明(千葉)
カード	8月8日 男子準決勝 実践学園(東京)74-44小岩四(東京)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tから判定していいケースがいくつかあった。 ・トラベリングの一貫性、公平性。 ・Tへの入り方もっと早く入って、ドライブへの対応に備える。 ・スクリーンの見方、スクリーナーのかけ方によってアングルを変える。 <p style="text-align: right;">《審判主任》加藤 暁生氏(東京)</p>			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】			
<p>今大会は二泊審判員として参加し、初日から3日間で3試合を担当させていただきました。派遣させていただくたびにクルーの協力の重要性を感じますが、今大会はTOとの協力の重要性も再認識しました。緊張感からくるミスを未然に防いだり、トラブルが起きた時に冷静に対処したり、24秒やゲームクロックの管理など、我々審判も常にアンテナを高めておく必要があると感じました。</p> <p>最後になりますが、今回の派遣に際しましてご配慮いただきました渡邊整関東ブロック長、渡邊諭県審判長はじめ県内審判員、埼玉県審判員、大会関係者各位に心より感謝申し上げます。 若林謙作</p>			

県 外 派 遣 審 判 ミ ー テ ィ ン グ 記 録 表

審判員名	U1 神門 康治	相手審判	CC長谷川 裕(神奈川) U2荻野 健(山梨)
カード	8月6日 男子1回戦 東海菅生(東京)68-49埼玉栄(埼玉)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <p>○センターでの動き、判定について</p> <p>3POで特に大事になるセンターサイドで起こる現象について、もっと自信を持って判定をしても良い場面があった。センターサイドでのプレーで機械的にクロスステップで中に入って判定するのは良いが最終的なオフェンスとディフェンスのポジションを予測して、中に入るだけでなくベースライン側において横から判定することも必要である。プレーを予測し取り組むことを更に心がけると良い。</p> <p>○説得力等</p> <p>速攻の場面でアンスポともとれるケースの時、ノーマルファールとして判定したのは間違いではないが、ベンチとのコミュニケーション等を考えると、もっとわかりやすく強く示すことも必要である。</p> <p style="text-align: right;">《審判主任》 加藤暁生氏(東京)</p>			

審判員名	U2 神門 康治	相手審判	CC真榮喜 工(埼玉) U1久保 あしみ(千葉)
カード	8月7日 女子準々決勝 松伏(埼玉)50-65下妻(茨城)		
<p>◇ ミーティングの内容</p> <p>○ローテーションについて</p> <p>1Qからリードに位置しているときに積極的にローテーションを起こすことができていたので、良かった。今後はボールサイド2を作ることにプラスしてプレーの予測をしっかりと行い、クローズダウンポジションでステイしたり、ミッドラインを越えていないようであればバックペダルで戻ったりと場面を考えることが必要である。</p> <p>○エリアの把握</p> <p>自分のエリアをきちんとノーコールにしたり急なコンタクトの判定することができていた。</p> <p>○一試合を通して</p> <p>前半よい入りができていたが、後半になると少し判定が揺らいでしまう場面があったので一試合を通して安定したレフリングができるようにしていく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">《審判主任》 一杉あきの氏(東京)</p>			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】			
<p>今大会は2試合担当させていただきました。初めてのクルーで試合を運営していくにあたりやはり大切なのはルールやガイドラインの理解だということが改めてわかりました。また試合前のプレゲームカンファレンスでは映像を活用することでより丁寧に話し合いをすることができました。</p> <p>試合では3POでセンターが積極的に判定することはもちろんリードからも積極的に判定をしていく重要性を学ぶことができました。</p> <p>試合後には映像をクルーでみながら協議をしていくと自分の判定とプレーの状況の違いなどがわかりました。常にポジションアジャストしながらよりよい位置でプレーを判定できるようにすることが大切であるとわかりました。今回の派遣に際して、渡邊整ブロック長、渡邊諭栃木県審判長をはじめ県内審判員の方々、お世話になった埼玉県審判員の方々にも感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">神門 康治</p>			